

# 平成22年度 第7回 数理分子生命理学セミナー

**日時:** 平成22年5月19日(水) 16:20～

**場所:** 理学部 E104 講義室

**講師:** 武仲 能子先生

(独)理化学研究所基幹研究所揺律機能研究チーム・基礎科学特別研究員)

**演題:** 金ナノロッドの結晶成長

**要旨:** ナノロッドとは、ナノサイズの棒状の結晶であり、特に金でできたナノロッド（直径 20nm、長さ 200nm 程度）は、工学的な応用から盛んに研究されている。金ナノロッドは、界面活性剤溶液中で自発的に成長するが、これは自発的な対称性の破れを伴う結晶成長として、基礎科学的な観点からも興味深い現象である。我々はこれまでに、金ナノロッドの成長メカニズムの解明のためには、界面活性剤と金との相互作用を明らかにすることが必要であると考えて研究を行ってきた。講義では、金ナノロッドの成長メカニズムに関するこれまでの我々の研究の概要も含め、結晶成長を広く概観する。

連絡先: 島田 裕士(理学研究科 数理分子生命理学専攻 内線:7450)